

岐阜県代協ニユ

2022年11月

vol.332



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

えんどう よしかつ

会長 遠藤 昌克

11月も半ばを過ぎ、ようやく岐阜市内も紅葉が進んでまいりましたが、今年
は暖秋が続く、季節の歩みがゆっくりです。11月22日は二十四節気の小雪で
北国から雪の便りが届く頃とされています。暦通り北の各地から初雪の便りが届
いたり、飛騨の平湯では先日初雪が降ったようですが、平年より遅れている地域
も多く本格的な冬の訪れはまだ先となりそうです。冬用タイヤの準備も早めにと
思っているものの暖かさではもう少し先でいいかな・・・とってしまいます。
とはいえ、ラニーニャ現象で2022年も厳冬が予想されます。急激に気温が冷
え込んで突然路面凍結が起こっても慌てないように、雪予報や路面凍結よりも早
めに冬支度を始めましょう。



さて、代協活動はこの秋は各委員会で事業が多くありました。まずはぼうさい探検隊参加者が目標に達
成しました。CSR委員はじめ、ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございます
ました。なんと全国すべての代協が達成いたしました。

11月11日には組織委員会担当による代理店賠償セミナーを正会員、代協非会員・保険会社社員の方にも
ご参加をいただき、Web開催いたしました。日本代協委託講師、杉山幹久氏を講師に迎え、最近の事例
を交えながら保険代理店の置かれている環境を、保険業法の改正も踏まえて解説していただきました。

17日にはCSR委員会担当で消費者団体との情報交換会を開催しました。説明不足の相談が多いこと、
弁護士費用の相談、自然災害での火災保険支払いでの特定業者のトラブルについて意見交換をさせていた
だき、新たなレッカー業者のトラブルについて情報提供いたしました。

18日から二日間は日本代協コンベンションが3年ぶりにリアル開催され岐阜県代協からは私を含め6
名が参加いたしました。残念ながら懇親会は行われませんでした。久しぶりに400名を超える会員が
集まりました。功労者表彰では東海ブロック静岡県代協の前会長の菊池勝男氏が表彰されました。

二日目は4会場に分かれての分科会に参加いたしました。私は岐阜県代協所属の(株)dii永井社長の
セミナーに参加しました。ほぼ同じ規模で、同じように元コンビニを事務所にしていることで、とても興
味深く受講しました。各支部から参加された会員からの参加報告につきましては次月号にてご紹介させて
いただきます。12月に入りますとコンサルティングコース募集が始まります。仲間づくりとともに目指
せ三冠王の必須項目です。企画環境委員会担当の事業継続力強化、社労士認定も順調に登録代理店が増え
ています。いずれもこれからが正念場です。皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

新型コロナ感染が第8波に入ったのか？7波の続きなのか、この1か月の感染者は増加傾向です。久し
ぶりに東京に行きましたが、新幹線も混んでいます。駅も街も人でいっぱい。夜の居酒屋なども賑わ
っています。以前ならこれだけの感染者が出たら規制がかかっていたと思いますが、WITHコロナの生活が定着し
てきたのでしょうか？ただ、重症者は少ないものの岐阜県でも毎日かなりの感染者です。どうか感染対
策をしっかりと続けていただいで今後の活動をよろしく願いいたします。

1 p・・・会長挨拶／目次	9 p・・・『街道シリーズ』（郡上街道2）松尾 一
2 p・・・スケジュール／事務局より	10 p・・・会員投稿
3 p・・・支部報告①	11 p・・・提携事業者広告掲載①
4 p・・・委員会報告①	12 p・・・提携事業者広告掲載②
5 p・・・代理店紹介	13 p・・・提携事業者広告掲載③
6 p・・・会員投稿中さんの保険諸国漫遊記（198）①	14 p・・・提携事業者広告掲載④
7 p・・・～保険ジャーナリスト②	15 p・・・委員会報告②／ゴルフ同好会報告
8 p・・・中崎章夫③	

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
10	23	日	CSR	『長良川を美しくしよう運動』(7:00～)	長良川河畔
11	2	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	8	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	9	水	飛驒	例会(11:30～)	魚祭り
	10	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	11	金	組織	代理店賠償セミナー(14:00～)	Web 開催
	17	木	CSR	消費者団体情報交換会(13:30～)	ふれあい会館 405会議室
	18	金	日本代協	日本代協コンベンション 第1部(13:30～)	グランドニッコー東京台場
	19	土		第2部(10:00～)	損保会館
	24	木	組織	委員会開催(14:00～)	ハイブリッド開催
	25	金	飛驒	役員忘年会	調整中
12	2	金	県代協	理事会(13:30～)	Web 開催
	7	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	9	金	西濃	支部セミナー、懇親会(17:00～)	クインテッサホテル
	9	金	東濃	研修会・懇親会(15:30～)	クアリゾート湯舟沢
	13	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	14	水	飛驒	例会(11:30～)	魚祭り
1	17	火	県代協	賀詞交歓会	グランヴェール岐阜
	20	金	中濃	支部新年会	調整中
	27	金	飛驒	支部新年会	調整中

～ 事務局&教育委員会より ～

★2022年12月22日(木) に2022年度第Ⅲ期の会費を、ご指定口座より振り替えさせていただきます。
政治連盟にご加入の会員の方は併せて振り替えさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。
(ご不明な点は、県代協事務局までお尋ね下さい。)



★損害保険大学課程 コンサルティングコース(2023年4月～2024年3月コース) 申込受付がはじまります。
(申込受付期間 2022年12月1日～2023年2月10日)

「損害保険大学課程 専門コース」の認定取得者が同コースで習得した知識を踏まえ、お客様のニーズに応じたコンサルティングを行うことができるように、より実践的な業務スキルを習得するためのコースです。ぜひ皆様の受講をお願いいたします。

概要は日本損害保険協会ホームページ「損保代理店試験サイト(<http://www.sonpo-dairiten.jp/>)よりご確認ください。または岐阜県代協教育委員、事務局までご連絡いただければ、教育プログラム募集要項をお送りいたします。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050

FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp

(担当: 小川百合子)

支部活動報告

【西濃支部 11月活動報告】 ○西濃支部 11月例会開催報告

開催日時 : 2022年11月 2日 (水) 11:30～ 開催場所 : 大垣「五右衛門」
参加者数 : 17名 報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

①連絡事項

- ・西濃支部セミナー開催・12月9日(金)17:00～クインテッサホテルにて講師は渡部弁護士
- ・三井住友海上火災保険 田中様より情報提供 ・提携事業者(株)タウ 大平様より情報提供

②委員会報告

- ・企画環境・ホワイト企業PRについて
事業継続力強化計画認定制度、社労士診断認定制度申請取得のお願い
- ・CSR・10/23長良川清掃参加報告、ぼうさい探検隊参加チーム報告
- ・組織・11/11代理店賠償セミナーの参加依頼、仲間づくり取り組みのお願い

③その他

- ・11/18～19 日本代協コンベンション・MSG保険サービス(株)永井氏参加

※次回例会 2022年12月 7日(水)11:30～ 大垣「五右衛門」にて

【中濃支部 11月活動報告】 ○中濃支部 11月例会報告

開催日時 : 2022年11月 8日(火)10:30～ 開催場所 : 太田交流センター研修室
参加者数 : 8名 報告者名 : 丸野 博文

《内容》

①委員会報告

- ・企画環境・ホワイト企業をPRについて
- ・広報・次回代協ニュースの代理店紹介について
- ・CSR・消費者団体情報交換会について
- ・その他情報交換
- ・2023年1月20日(金)中濃支部新年会 場所、参加者、人数についてコロナの状況に合わせて内容を変える。12月の例会で確認後、案内のFAXを送る

※次回例会 2022年12月13日(火)10:30～ 太田交流センター 研修室にて

【東濃支部 11月活動報告】 ○東濃支部 11月例会報告

開催日時 : 2022年11月10日(木)11:30～ 開催場所 : みわ屋
参加者数 : 11名 報告者名 : 田口 友喜

《内容》

- ・情報提供 ファブリカキャンペーンについて
- ・各委員会報告
- ・12月9日にクアリゾート湯舟沢にて研修会・懇親会について
- ・その他情報交換

※次回例会 2022年12月9日(金)15:30～ クアリゾート湯舟沢での研修会後

【飛騨支部 11月活動報告】 ○飛騨支部 11月例会報告

開催日時 : 2022年11月 9日(水)11:30～ 開催場所 : 魚祭り
参加者数 : 7名 報告者名 : 熊木 千夏

《内容》

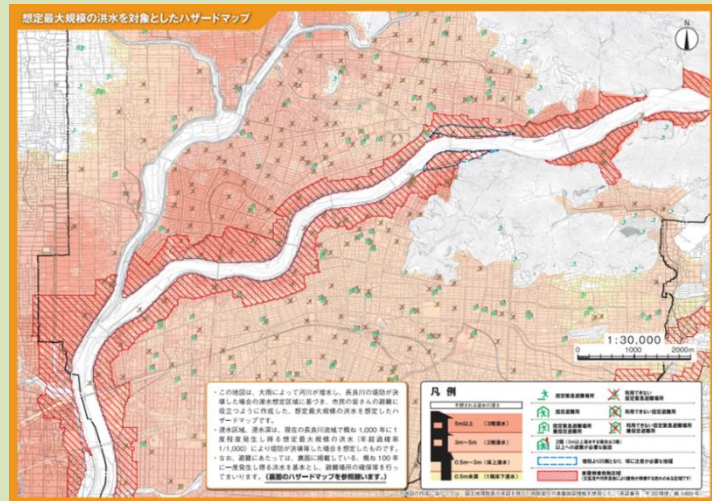
- ・日本代協コンベンションに参加(萱垣支部長)
- ・11月25日(金)役員忘年会のお願い
- ・2023年1月27日(金)新年会のご案内の件
- ・各委員会報告

※次回例会 2022年12月14日(水)11:30～ 魚祭り

防災だより 3

ハザードマップを見る

ハザードマップは、自然災害に対して危険な箇所や地区を地図上に示したものです。過去の災害を踏まえて、どのような地形・地質・土地条件のところが危険なのかを判定して危険度を示した地図です。また防災上の施設、避難場所などを示した地図もあります。



(岐阜市洪水ハザードマップ (長良川) 岐阜市ホームページより)

- 長良川の堤防が決壊した場合に起こりうる最大規模の洪水を想定しています。1,000年に1度起こりうる洪水予想ですが、いつ起きてても不思議ではありません。
- こちらは指定避難所の情報もあり、避難所には支援物資が優先的に届きます。実際に自宅から避難所まで歩いてみるといいでしょう。
- 各家庭に自治体からハザードマップが届いていると思います。自宅の近くなどを確認して、命を守る対策をしたいものです。

第2回長良川を美しくしよう運動 活動報告

日時 : 2022年10月23日(日) 6:30~ 場所 : 長良川 河川敷
 参加者数 : 8名 報告者 : 礪谷 宏

《内容》

秋はゴミは少ないものの、清掃後のすがすがしさはいいものです。

例年よりも(昨年は中止)多くのご参加をいただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



代理店紹介

飛騨支部 株式会社武三四 ほけんやさん

<代理店名>

(株)武三四 ほけんやさん

<所在地>

〒506-0004

岐阜県高山市桐生町 4-10

TEL : 0577-77-9315

FAX : 0577-77-9316

<代表者>

代表取締役 清水 公男

<スタッフ>

計 6名 (男性2名、女性4名)

(損害保険ジャパン(株)高山支社へ出向社員 男性1名 女性1名)

<取扱保険会社>

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOひまわり生命保険株式会社

第一生命保険株式会社



<経営理念>

- ① 社会のニーズに適応した新しいサービスを創造・提供し、地域社会に貢献します。
- ② お客様第一を基本に置き、最適な商品と最高のサービスを提供し、お客様との共存共栄を図ります。
- ③ 従業員の育成に全力を注ぐとともに、働きがいのある明るい職場を作ります。

<行動基本方針>

- ① 私たちは、常にお客様の意向を把握し、お客様の立場で考え信頼に応えます。
- ② 私たちは、迅速で的確な業務遂行を行い、最適な業務プロセスを目指し、見直しを続けます。
- ③ 私たちは、お客様との約束を守り、ルールを遵守することが信頼をいただく基本と考えます。
- ④ 私たちは、互いに情報を密にし、助け合い、組織力でお客様対応を行います。

「下からのDX」対応で地域で輝く代理店めざそう！

◇南紀白浜への旅

11月中旬に久しぶりに娘と三人で南紀白浜のアドベンチャーランドに一泊旅行をした。ジャイアントパンダ見たさもあったが、私個人としては南方熊楠記念館に行ってみたかったことがあった。アドベンチャーランドはパンダの動物園ぐらいに思っていたが、行ってみると、ディズニーランド張りのテーマパークで、80万㎡の広大な敷地に、動物園、水族館、遊園地、サファリパークを擁する一大レジャーランドで一日中楽しめるところなのだ分かった。上野動物園の長蛇の列でのパンダ見物と違い、5頭の愛くるしいしぐさ、竹をバリバリかじって食べたり、動き回ったり寝そべったり……。それぞれ、じっくりゆったりみられ、野外での見物までできる、パンダ好きにはたまらない贅沢な環境がここにはあった。またゴンドウクジラとイルカとスタッフとによるマリンライブは流れるような演出で、素晴らしかった。サファリワールドでは、アフリカゾウやアミメキリン、ムフロン（野生の羊）、南シロサイに間近での餌やり体験など実に冷や冷やもので面白かった。

夕方宿に戻ると、鳥インフルエンザが園内で発生、アヒルやエミューなど殺処分と消毒、臨時休園措置が取られるとの悲しく残念なニュースが流れた。翌日はレンタカーで、千畳敷や三段壁洞窟等の名称を見て回り、南方熊楠記念館を訪問、ここからの360度の景色は素晴らしかった。

また紀州銘菓の福菱本店のカフェでここでしか食べられない生かげろうというお菓子をいただいた。ここ3年忘れていた久しぶりの家族三人の旅であった。

◇DX化がもたらす発想の転換

保険代理店の事業環境が大きく変わりつつある。デジタル化とコロナ禍はそれに拍車をかけている。社会は分散化・非中央集権化の流れが急ピッチで進みつつあり、従来の重厚長大型・垂直統合型の組織の在り方も転換が必要な時代になっている。規模信仰に未だとらわれた発想はどこの業界でも色濃く残るが、もはや旧来の発想、考え方の枠組みでは対応しにくくなっている。

保険の世界でも同じで、保険の定義、枠組みが大きく変化しつつある。まさかの時の金銭給付を中心とした定義はすでに窮屈になりつつある。今や万一の時のためばかりでなく、平時の安全・安心・健康みまもりに力点を置いたサービスへ、と事後から事前へ、予防重視へとビジネスモデルの変革が求められている。

それを急速に迫っているのがDX（デジタルトランスフォーメーション＝デジタル変革）化である。ニューテクノロジーを活用して事業の在り方を代える。中でも保険産業の強みは顧客から得てきた膨大なデータの蓄積だ。現実世界の事故・災害・病気など人の五感に係る現実世界からの情報を豊富に有し、それを様々な情報とつなげ活用することで新たな付加価値を創造できるからだ。



◇変更迫られる「保険」ビジネスの定義

データサービス産業化という新たな枠組みのビジネスモデル構成は、旧来の「保険」ビジネスの枠には収まらないものである。それを承知の上で新たな保険ビジネスの定義づけも必要になってくる。従来の、大数の法則で成り立つ世界から、データが個々で瞬時にとれる時代になることで、究極の細分化した対応、リスクの予測に基づく管理が可能になる。またいまは限定的・辺境での変革かもしれないが、そこで起こりつつある変革の波はいずれビジネスの在り方を根底から作り変えていくのかもしれない。

保険の枠にとらわれない、顧客の視点、社会の視点から、発想の転換も必要だ。ニューテクノロジーはブロックチェーンをベースに旧来のビジネスや社会のやり取りを大きく変えつつある。保険の世界も例外ではない。保険代理店ビジネスもまたDX対応をいかに図るか。データサービス産業化の進展に伴い、どのような役割を担うのか。そもそも、DX対応の現状をどのように理解したらよいのだろうか？

◇「上からのDX」、「下からのDX」とは？

現在、DX（デジタル変革）、すなわちデジタル化による社会の作り替えが急ピッチで進む。とりわけ、デジタル強靱化社会を目指す国の動きは、マイナンバーカードへの健康保険証の紐づけ、義務化等を通じ一段と明確になってきたが、こうした「上からのDX」以上に必要なのが草の根、民間での地域における「下からのDX」だ。やはり身近なところからデジタル体験を積んで納得づくで、その効用を体得しない限り、上っ面の形だけの取り組みに終わってしまうからだ。

もともとDXとは価値観の転倒、アナログ文化からデジタル文化への発想の転換を伴うものだからだ。長らくなじんできたアナログ文化からデジタルへの変更は困難を伴う。スマホの普及の一方で、その操作に戸惑い、活用できていない人たちが高年齢層を中心にかなりの数に上るのが現実だ。そのような方々にもデジタルツールが使いこなせる世にしていくのは一朝一夕にはいかない。

◇「下からのDX」普及の推進役

こうした中で、「下からのDX」普及の推進役として、地域における代理店の役割も大きくクローズアップされてくる時代になっている。

代理店の仕事の在り方を見ても、DX対応は、それほど遠い、向こう側にあるものではなくなっている。何も国や大企業の専売特許ではない。むしろこれからのDXは、非中央集権化、分散化、管理から自律にその根幹があるといってもいい。デジタル化の根幹は、オープンなネットワーク展開である。組織の大型化を否定するつもりはないが、コンパクトな代理店組織でも外部の優れた事業者と連携し、サービス品質が優れてれば、十分に活躍できるのがオープンネットワークというビジネス環境だ。

◇ニューテクノロジーの共通項は分散化・参加型コミュニティの創出

非中央集権化（分散化）と参加型コミュニティの創出こそがこれからのニューテクノロジーの共通項となる。巨大な管理者、ITプラットフォーマー（グーグル、アップル、メタ=フェイスブック、アマゾン、マイクロソフトなど）が牛耳るビジネスモデルの転換である。金融機関に代表される大企業が一方的に情報を伝達した段階（Web 1）、巨大IT企業がプラットフォーマーとしてSNSなど情報ネットワークを運営する現在の段階（Web 2）から、これからはユーザーが相互に対等な立場で参加型コミュニティの創出にかかわる（Web 3）のビジネスモデルへの転換である。

その根幹にあるのが「ブロックチェーン」（分散型台帳技術）というニューテクノロジーだ。このブロックチェーンを使って、近い将来、暗号資産（仮想通貨）、NFT（偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ）、スマートコントラクト（ブロックチェーン上で契約を自動的に実行する仕組み）、DAO（分散型自立組織）、Web 3（分散型次世代インターネット）、メタバース（仮想空間サービス、アバター=分身を通じ利用者が活動できるインターネット上の空間）などが融合し、あらたなビジネスモデルをもたらすことは間違いない。こうしたニューテクノロジーが今後20～30年にわたり大きな変動をもたらすものと思われ、保険の世界も例外ではない。

◇小口送金サービス「ことら」導入は銀行業界の危機バネ

こうしたニューテクノロジーによる変革の足音が高まっているため、既存の産業界もそれに備えるかのような、これまでにない、業界横断的な新たな取り組みを進めだしている。

例えば銀行業務についても、これまでは巨大な銀行の信用力でお金の流れを管理する仕組みで、例えば送金業務一つとっても、全銀システム（全国銀行資金管理ネットワーク）の維持管理のために結構な手数料をとって来たが、これからは当事者同士が対等の立場でお金のやり取りをするような管理者要らずのやり取りの仕組みに変わっていくことは必至になってくる。

そのニューテクノロジーのインパクトは、銀行業界にも業務の変革への動きを加速させつつあり、旧

来の業態改革にのりだすとともに、DXへの待ったなしの取り組みを本格化させつつある。

既存のシステムを再活用しての取り組みとはいえ、本年10月11日から個人間の少額の資金のやり取りでも個人間「ことら送金サービス」がスタートさせているのもこうした背景があつてのことだ。従来、銀行では、全銀システムを使つての送金には、3万円以上で330円、3万円未満で220円の手数料が必要だったが、J-bank等のスマホアプリからAPI経由で銀行キャッシュカードなどの即時決済サービスに使われてきた既存の「J-debit」基盤に構築されたシステムにつなぐことで、コスト抑制が可能となり、スマホアプリでの10万円までの送金が手数料無料で始まりだしている。

<https://www.cotra.ne.jp/>

◇代理店のDX体験を活かせ

こうした中で、それでは地域におけるデジタル化、DX対応はどのように進んでいくのだろうか。代理店はどのような役割を担う存在なのだろうか。

ここで考えなくてはいけないのが、現在の代理店の業務にデジタル化はどのように浸透しているのだろうかということだ。ここ数年、コロナ禍もあり、顧客との接触の在り方は大きく変化してきた。代理店の仕事のやり方も様変わりしてきたのではないだろうか。保険会社と代理店のコンタクトの在り方にも変化がみられるのではないか。かつてはリアルな面談が当たり前だったがそれが困難になって、デジタル、オンラインシフトが進んだ。Zoom等を利用してのWeb会議も今や定着してきたのではないか。最近、グループウェアやRPA(更改など定型業務の自動化)などを業務に活かし生産性を高めたり、顧客とのコミュニケーション手段としてLINE公式アカウントを戦略的に活用して成果を上げているなど多様な活用事例も出てきている。

代理店はその意味で、現場で色々とデジタル体験を積んできていることを自覚すべきである。そして、自らのデジタル体験、その付加価値を、地域の周りの顧客(中小企業など)へのDX支援に活かしていくことが必要ではないか。

◇デジタル時代の「よろず相談窓口」機能の発揮

代理店の真骨頂は「よろず相談窓口」にある。顧客の悩み困りごとを見抜き、その課題解決の支援をしていくことにある。その意味で、地域におけるDX対応がまさに地域の顧客、とりわけ皆さんの周りの中小企業等に具体的にDX体験を通じて得たノウハウを伝授していくことが重要になってくる。

これからの時代は、地域における代理店がDX体験をサービスプログラムとして戦略化して地域の顧客に伝播させていく役割が求められる。この役割は人介在型サービスを実践する代理店を地域社会の輝ける存在にしていくものではないか。

保険の枠にとらわれない、顧客の視点、社会の視点から、発想の転換も必要だ。ニューテクノロジーはブロックチェーンをベースに旧来のビジネスや社会のやり取りを大きく変えつつある。保険の世界も例外ではない。保険代理店ビジネスもまたDX対応をいかに図るか。データサービス産業化の進展に伴い、地域における防災・減災等の社会的課題解決のためにも、「下からのDX」の地域での担い手としての役割発揮は重要性を増していく。そのためにもITリテラシーを高め、デジタルツールを使いこなしていくことが求められる。

とくにITと人の育成のための、目に見えないものへの投資は重要である。それとデジタル化は一段とデータの活用とオープンなスタンスでの異業種、外とのつながりが重要になる。代理店ビジネスはサイズ・量の時代は終わりつつある。これからはコンパクトでも品質とDX対応で勝負の時代である。オープンイノベーション、つながり力の発揮、言い換えれば水平思考の超積極的なネットワーク力こそ肝心となるのではないか。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

『街道シリーズ』（郡上街道その2）

松尾 一

岐阜町から北一色へ

江戸時代の郡上街道は、岐阜町から長良の渡しで長良に入り、長良川沿いに北上するルートと、岐阜町から靱屋町、笹土居町と南下、金園町2交差点から東に進むルートがありましたが、この岐阜町から南下するルートがメインでした。今回は、このメインルートで郡上街道を訪ねます。



（御鯨街道の案内板）

郡上街道は、まず尾張藩領の岐阜町の、かつて土塁を築かれていた笹土居町から、小熊町、金屋町と南下します。小熊町と金屋町は尾張藩領の小熊村の一部でした。小熊村という地名は、織田信長が、現在の羽島市小熊から、小熊地蔵を岐阜町に移させたおり、地蔵が帰りたいと言ったため、この地を「小熊」にしたという伝説から名付けられたと伝えられています。現在は、その小熊地蔵は小熊町の東隣大門町の慈恩寺前にあります。

金屋町、美園町と南下した郡上街道は、金園町2の交差点に着き左折、つまり東に折れ国道248号で東に進みます。美園町からは加納藩領です。

ちなみに、金園町2の交差点からさらに南下して加納、そして笠松から四ツ谷（稲沢市）にいたる岐阜街道（尾張街道・名古屋街道）は、江戸時代、尾張藩によって長良川で獲れた鮎を加工した鮎鮎が江戸まで運ばれていたルートだったので、のち、岐阜市では「御鯨街道」、岐阜県笠松町では「鮎鮎街道」という愛称で呼ばれるようになりました。

郡上街道に戻ります。郡上街道は金園町2の交差点から国道248号を東に真っ直ぐに進みます。普通、江戸時代の街道は、平野部では自然堤防の上を通ったりして、真っ直ぐな道は珍しいのです。これは、古代、朝廷が東西南北に耕地整理した条里制の遺構かと想像します。このあたり一帯に条里制があったことは、六条、市ノ坪、五坪という条里制由来の地名が残っていることでも証明できます。このような例は越前の北陸街道などの街道でも見られます。



（瑞龍寺）

金園町2の交差点から東に進んだ郡上街道は金園町4の交差点に着きます。ここから北、上加納山の南麓には美濃国守護代の斎藤妙椿が建立した妙心寺派の瑞龍寺があります。塔頭や道場もあり静かな景観を保っています。また山門の傍には古代の寺院ゆかりの厚見廃寺の礎石があります。つまり古代の寺院があったあたりに瑞龍寺が建立されたということになりましょう。

さて、郡上街道は金園町4交差点から国道248号、つまり金園町の通りを東進し、国道156号（国道248号）の高架を潜り、北一色7東の交差点へと向かいます。

（まつお・いち）ライフワークは民俗、地域史(近世交通史)

著書は『岐阜地理・地名・地図の謎』（監修・実業之日本社）、『みのひだ雑学』（岐阜新聞社）など多数

会員投稿

～FIFA ワールドカップ カタール 2022開幕～

11/20から4年に1度のサッカーの祭典ワールドカップカタール大会が開催されます。今大会は中東初で従来の6～7月の開催時期とは異なり、11～12月にかけての開催となります。また開催時期の変更に伴って、欧州などの主要リーグの期間中のため、各国のリーグはリーグ戦の中断期間を設けています。

今大会は過去の大会と異なる点が多く、代表チームに合流して間もなく本大会初戦を迎えるチームが数多くあるようで、選手のコンディション的にも過酷な日程でチーム作りに苦労しそうです。



FIFA ランキング上位の国にそのような不安要素がある事から、今大会は波乱の結果になる可能性も十分ありえると思います。日本代表は過去6大会では経験した事の無い“死の組”に入ってしまったが、皆さんはどう思われたでしょうか？

正直、めっちゃ厳しい組み合わせのグループである事は間違いないと思います。しかしながら同じ組の強豪国には不安要素も有り、グループステージでは日本代表が付け入る隙も必ずあるはずで、日本代表には“死の組”を勝ち上がって世界中に衝撃を与えてもらいたいです。

(広報機関誌委員会 担当副会長 馬場 浩之)



ニッポン！！

ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



ALSOOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6
U R L : <http://www.nihonguard.co.jp>

電話：058-274-0110
e-mail : eigyounihonguard.co.jp

ダメージカー（事故車・中古車）のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712

愛知県名古屋市東区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU
www.tau.co.jp

- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク／札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本／ブリスベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 ゴトウ自動車ガラス

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



見積無料
出張サービスOK

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合
JAGU認定
国土交通省支援試験 一級取得
(JAGU:日本自動車ガラス販売施工事業協同組合)

取扱メーカー
AGC
旭硝子株式会社
NSG
グループ
日本板硝子株式会社
セントラル硝子株式会社

看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175(代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

機動力

24時間 365日
迅速フル対応

いつでも、
どこへでも、
トラブル現場へ。



岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
本荘営業所 岐阜市敷島町9丁目1-1
岐阜羽島営業所 羽島郡笠松町門間750
岐阜北営業所 岐阜市津島町3丁目57



至急 GO! レスキュー

事故・故障・レンタカーのご用命は



0120-495-039

有限会社 **イブカ**

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
TEL:058-388-5678 FAX:058-388-5679

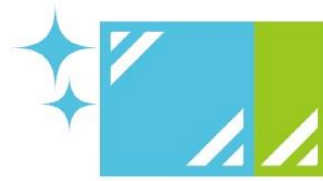


無料相談窓口実施中!
いつでもお気軽にお問合せください。

☎ 0120-310-819

窓を変えて
暮らしを変える。

〒503-0854 大垣市築捨町5-121-1
Mail: tabata@t3ha.com
HP: <https://www.igokochi.biz/>



窓の専門店

TABATA
タバタサッシ

被害に遭われた方に寄り添った
対応を心掛けます!

ガラス 雨戸 シャッター
玄関ドア 鍵 勝手口

カーポート フェンス
門扉 テラス などなど



損害保険に係わる**修繕工事**を**全て対応**致します

- 民間 初動対応 → 被害者打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了報告
- 公共物 初動対応 → 役所打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了届返却後完了報告
場合により各書類提出



上記、一連を同じ担当者で施工対応致します!

お客様あつての 損害保険と理解しております!!

保険の価値が最も求められるのが事故が起きた時!
代理店様からの要請により、迅速な対応・仮復旧・清掃・
早期の現状復旧を目指し、事故に遭われたお客様、
契約者様共にご納得・ご満足頂ける対応を行うことが
ご依頼を頂きました代理店様への恩返しになると丁寧に
対応致します。
保険修繕業務において10年以上の経験・実務を培ってきております。
事故発生時には是非ご用命下さい

24時間365日対応

Houei sougyou
総合建設業 **芳永総業**
岐阜県知事許可 第103860号

岐阜県羽島市堀津町横手3丁目37-2
TEL:058-398-2282
渡邊:090-5869-9590

創業76年1000棟以上の実績
大切なあなたのお住まいを守ります



七宗の健康住宅

長尾建設株式会社・カネジュー設計事務所



〒509-0511

岐阜県加茂郡七宗町神淵1793-1

☎ 0574-46-1321

地元寄り添う外構店です

株式会社 Hamaken エクステリア

代表取締役 浜田 智

所在地 岐阜県多治見市旭ヶ丘5丁目2-8

URL <https://www.hamaken8008.co.jp>

所有資格 建設業許可(般-2)第500929号

FAX 0572-26-9633

お問合せはLINEに頂きますと
スムーズに対応させていただきます。



公式LINE
アカウント

当社の強み

業歴
約25年以上

お客様のご要望を
ヒアリングし、
職人目線で考えた
+αのご提案

年間施工数
100件以上

多くのお客様に
満足していただくため、品質維持、
柔軟な対応力と安心の技術を
活かしていきます

安心の
自社施工

お問合せから現地調査、
打ち合わせ、施工、
アフターフォローまで
を一貫して対応

施工大切にしていること

丁寧にヒアリングし、お客様の想いを知り、
予算に合わせた満足のいくご提案を。

5年後、10年後も美しい状態を維持できる、
一歩先を考えた利便性の高い空間を。

美観性・機能性のどちらにも兼ね揃えた
外観工事を大切にしています。

自社施工店

一貫して全ての工程を担当



施工費用
のみ

委員会報告 ②

○ 企画環境委員会 ホワイト企業をPR！報告

事業継続力強化計画認定制度認定代理店・社労士診断認証制度認定代理店のご紹介をいたします。新たに11月10日までにFAXにてご報告頂いた代理店及び中小企業庁HPで認定代理店確認が取れた代理店を掲載しております。認定されているのに名前が掲載されていない場合は県代協事務局までお知らせください。

☆事業継続力強化計画認定制度認定代理店

(新規2店) 現在 36 店→目標は 50 店です

岐阜東	(有)アイジーアイ
岐阜西	(有)棚橋保険事務所

☆社労士診断認証制度認定代理店

(新規2店) 現在 18 店→目標は 25 店です

東濃	(有)恵北損保
飛騨	(株)ライフステージ



認定おめでとうございます！

(11月10日現在)

○ ゴルフ同好会コンペ開催報告

日時：2022年10月21日(金) 場所：シーダーヒルズカントリークラブ
参加者数：22名 報告者：森 信彦

《内容》

絶好のゴルフ日和の秋晴れの中、3年ぶりにシーダーヒルズカントリークラブにて総勢22名の参加を得て開催しました。コロナが終息していない中でしたが、それぞれが感染予防し、屋外でのマスク無しで気持ち良くプレー出来た事、新規参加者も増えた事お礼申し上げます。次回は来春開催予定です。たくさんのご参加をお待ちいたしております。

	グロス	ネット
優勝 井戸 貴之	98	60
準優勝 高木 光男	86	68
3位 畠久保 豊	91	68



発行日／2022年11月25日

責任者／遠藤昌克 発行／広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail: gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

馬場 浩之、高橋 励、熊木 千夏、後藤 哲裕、小林 一嗣、宇野 美佐、小栗 誠、
遠藤 昌克、森 信彦